



関西大学
体育会野球部

奪目×Dash!

第38号
2020.9



TOPICS

- ・コロナ禍のブログ企画！
- ・With コロナ～「うち時間」の過ごし方～
- ・リーグ戦を支える精鋭たち
- ・秋季リーグ戦開幕！
- ・まさに壮観！魅せた4年生の底力
- ・編集後記



KANSAI UNIV. BASEBALL TEAM

コロナ禍の ブログ企画！

今年は新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、関大野球部は4月3日から6月15日まで全体練習を自粛しました。この期間、さまざまなメッセージをブログやInstagramにて発信し、関西大学の校友会誌でも取り上げられるなど、多くの反響をいただきました。今回はその模様をお伝えするとともに、実際に企画に参加してくれた部員から話を聞いてみました！

オンライン野球教室(4月8日～5月7日)

野球の技術面についてのアドバイスはもちろん、「ステイホーム」を呼びかけるなど、感染拡大防止に向けた取り組みを発信しました。この企画には早瀬万豊監督や山口高志アドバイザリースタッフにも登場していただきました！



動画の中で伝えようとしていることが見てくれている人に伝わっているのか、撮影している時は相手の反応が見えず不安でしたが、反響をいただいた時はうれしい気持ちでした。能島(安全2・盈進)

部員からのすすめ(5月8日～5月23日)

部員が影響を受けた本、歌詞や大切にしている言葉、座右の銘などを紹介したこの企画。日頃は知ることのできない部員の一面を見ることができただけでなく、ご覧になった皆さんにも参考にしていただけたと思います。

普段はなかなか部員同士で話すことのない内容だったので、この企画を通して共有できて良かったです。また、自分の思いを動画として発信することで、自分自身の思考や価値観を再認識することができました。里中(法3・関大一)



高校球児の皆さんへ(5月24日～5月31日)

今年の全国高等学校野球選手権大会中止を受け、同じ野球を愛する仲間として何かできないかと考え始まったこの企画。一つの目標を失った高校球児たちですが、3年間の経験を今後の人生に活かしてほしいと思います！



高校生には辛い現実ではありますが、みんな同じ状況なので、それを乗り越えて成長してほしいと思いました。当事者にしかわからない気持ちもあると思いますが、僕たちだからこそ伝えられることがあると思い、動画にメッセージを込めました。築山(文4・塔南)

With コロナ ～「おうち時間」の過ごし方～

緊急事態宣言の発令により長く続いた外出自粛の影響で、私たちはこれまでにないほどに自宅で過ごす時間が増えました。そんな中、ニュースなどでもよく耳にするようになったのが「おうち時間」という新しい言葉ですが、この時間の使い方や過ごし方に困った方も多いのではないのでしょうか。関大野球部でも約 2 ヶ月に及ぶ活動自粛期間がありましたが、部員たちはこの期間どのような工夫を凝らして過ごしていたのか、ここでは部員たちの「おうち時間」に迫りたいと思います！今なお新型コロナウイルスが猛威を振るい自粛ムードが続く中で、少しでも自宅で過ごす皆さんの参考になれば幸いです。

必見！「おうち時間」のすすめ



これまでは授業と野球中心の生活ということもあり、これだけ長い時間家にいることはなかったので、部屋の掃除をしたり、ゆっくりとドラマを見たり、本や新聞を読むなどしていました。私はこういう状況だからこそ、普段やらないことやできないことに取り組む期間にしました。そうすることで、新たな学びや楽しさを発見することができたので、充実した「おうち時間」を過ごすことが出来ました。



乾(人間 4・関大北陽)



嶋津(安全 3・福知山成美)

普段部活等で運動をしている時間が、自粛期間となった事により必然的に家にいる時間が長くなりました。その中で自分にとってプラスに繋がる事がないかを考えた結果、練習内容ならびにストレッチ方法を YouTube やウェブサイトで調べるという考えにたどり着きました。自分が知らなかった知識も理解することができ、また自分に合った手法があれば実践し、「おうち時間」でも有意義な時間の過ごし方ができたと実感しています。

私がこの活動自粛期間で意識したことは体重管理です。自主練習に加え、工夫した「おうち時間」の過ごし方は、千円札と 500ml の水分を持って走るということです。千円札を持っていることによって万が一の際や走っているときに疲れたら電車を使って帰ればいいやという思いになることができ、自分が強くなった気がします。しかし、実際にやってみると千円札を崩したくないという思いも出てきてしまいます。しかし、結局使うか使わないか考えているときにはかなりの距離を走ることができていました。その結果、練習再開時には体重の変動は少なく、練習に挑むことができました。自分に厳しくできないという方も、この方法では千円札があることによって自分に厳しくできます。ぜひお試しください。



廣井(商 2・須磨友が丘)

新型コロナウイルスによる自粛生活は、身近にあったはずの日常を奪い、沢山の悲しみを生みました。ですが、その反面、自粛生活で新たな趣味を発見したり、新たな知識を得たりと、自分自身に磨きをかける良い機会ともなりました。

まだ自由に外出などができる状況ではありませんが、この機会にこれまでになかった新しい日常の楽しみ方を見つけてみてはいかがでしょうか！

リーグ戦を支える精鋭たち



リーグ戦を支える裏方たちを、コメントを交えて紹介します！ 球場に足を運んでいただいた際には、彼らの活躍にもご注目ください！

◎ファールボール係◎

試合中スタンドに待機し、スタンドにファールボールが飛んだ際に警笛を鳴らすなど、観客の安全配慮に努めています。

試合に集中し、打者の放った打球がスタンドに入ったらすぐに音を鳴らし、お客さんに当たらないようにお守りしました。

石原(総情 2・栄徳)



◎道具係◎

リーグ戦の道具の管理を行い、ベンチ裏で働く裏方。重たい道具を運ぶ、これぞ縁の下の力持ち！

チームで使用する、キャッチャー道具や、ボール、ヘルメットを整頓して並べます。試合中はドリンクの補給や、道具の修理などもしていました。いかに、速く正確にできるかが大事なので、周りを見ることの大切さを実感しました。

谷元(政策 2・関大北陽)



◎チケット販売◎

マネージャーが、保護者、関大 OB・OG、関大生の方々に対してチケットブースを設置し、チケットを販売します。

多くの方と接する機会があり、大変やりがいのある仕事です。球場で私を見かけた際は、声をかけていただけるとうれしいです。

川上(経 3・三田学園)



◎関係者受付◎

監督、コーチや審判、報道の方など、関係者専用の入り口で待機し、ID カードの発行を行います。

僕たちの働きぶりでチームが評価されることもあるので、挨拶や服装、態度にはいつも以上に気を付けています。

溝部(経 2・清水東)



◎ボールボーイ◎

グラウンドに飛んだファールボールを回収するほか、審判へのボール渡しなど、試合中のボール管理を行います。

グラウンドに入ることによってリーグ戦メンバーのプレーを近くで見ることができ、自分のプレーに取り入れられるものがないか考えることができました。

口分田(人間 2・近江兄弟社)



◎放送委員◎

場内アナウンスのほか、カウントやスコアボードの操作を行います。放送委員は、質の高いアナウンスができるよう、日々努力を怠りません。

私の明るく元気な「声」で球場全体を盛り上げていきます。ぜひ場内アナウンスにも注目してください！

須田(社 3・東海大仰星)



◎リーグ戦速報◎

野球部 HP を通して、試合経過・結果をお伝えします。速さと正確さが求められる仕事です！

関大野球部を応援してくださっている皆さんへの感謝を込め、試合の最新情報をお伝えできるよう心掛けています。ぜひ、速報を通してリーグ戦を楽しんでください！

松田(政策 3・聖カタリナ学園)



秋季リーグ戦開幕！

春季リーグ戦は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となってしまいました。今年は例年に比べ、練習する時間が十分に確保できない時期もありましたが、リーグ戦連覇に向け練習に励んでいました。待ちに待ったリーグ戦がいよいよ開幕します！

ラストシーズンに向けて～主将・副将・学生コーチの思い～



主将・吉川（経4・土佐）

春季リーグ戦は、新型コロナウイルスの影響で残念ながら開催されませんでした。現在もまだ終息の目処がたっていません。そんな中、秋季リーグ戦では野球ができることをしっかりと噛みしめ、4年生最後のシーズンを部員全員がひとつになって、絶対目標である「全国制覇」を目指し一戦一戦全力で戦っていきます。ご声援のほどよろしくお願いします。

新型コロナウイルスの影響により、約2ヵ月間野球ができないという経験をしました。そして、春季リーグ戦も中止になり、いつも当たり前に行っていた野球ができないということが起きてしまいました。現在は部員全員が野球ができる喜び、感謝を改めて感じています。1年生も入部し、200名を超える大所帯の中、全員がその思いを胸に、秋季リーグ戦ではチーム一丸となって戦いますので、どうぞ応援よろしくお願いします。



副将・阪倉（社4・佐久長聖）



副将・林（人4・米子北）

この秋を迎えるまでは、新型コロナウイルス感染症の影響で、約2ヵ月間の自粛期間があったり、部活動を行う上での人数制限や時間制限があったりと、今までとは全く異なる練習環境で野球に取り組んできました。しかし、このような経験から、野球ができる喜びを全員が噛みしめることができました。秋季リーグ戦では、支えてくださる多くの方々への感謝の気持ちを忘れず全員野球で臨み、優勝を勝ち取りたいと思います。



学生コーチ・中村（総情4・智辯学園）

このような状況で思うように練習や試合ができない中、選手たちは目の前の試合があると信じ自粛期間やチームでの合同練習を全力でやってきました。まずは初戦を全力で戦い、勝って兜の緒を締めたいと思います。



学生コーチ・藤原（法4・舞子）

新型コロナウイルスの影響で春季リーグ戦の開催が無くなるなど、今までにない状況に立たされていますが、我々にできるのは勝つ準備をすることだけです。この秋もう一度神宮に戻り「頂への皆心撃」を巻き起こします！

※試合日程は大幅に変更になる可能性があります。

節	日付	曜日	時間	対戦相手	球場
2	9/12	土	10:30	京都大学	皇子山
	9/13	日	13:00		
	9/14	月	未定		
3	9/19	土	10:30	同志社大学	南港中央
	9/20	日	13:00		
	9/21	月・祝	未定		
4	9/26	土	9:30	立命館大学	ほっともっとフィールド神戸
	9/27	日	14:30		
	9/28	月	未定		
6	10/17	土	10:30	近畿大学	ほっともっとフィールド神戸
	10/18	日	13:00		
	10/19	月	未定		
8	10/24	土	13:00	関西学院大学	甲子園 わかさスタジアム京都
	10/25	日	13:00		
	10/28	水	未定		

そうかん
まさに壮観！

魅せた4年生の底力

7月28日に KAISERS BASEBALL FIELD にて OP 戦・対履正社スポーツ専門学校が行われました。この試合は、新型コロナウイルスの影響で中止となった総合関関戦(総関)の代替試合として開催されました。今年度は春季キャンプや春季リーグ戦など、4年生にとっては最後となるさまざまなイベントが中止となってきました。ですが、そんな困難を乗り越えた4年生がこの試合で改めて結束ぶりを見せ、7-0で見事勝利を収めました！一投にこれまでの全てを込める投手の姿や、泥にまみれながらも白球に食らいつき、一振りに思いを乗せる野手の姿など、グラウンドで見たそれぞれの姿はまさに壮観でした！

そこで今回は、この試合を区切りにサポート役としてチームに貢献する選手に、これまでの4年間の振り返るとともに、これからいかにチームに貢献するのか、それぞれの抱負をインタビューしました！



加藤(人間4・関大北陽)

大学野球を振り返ると、毎日練習に行くのが楽しみで仕方なく、おもしろい同期に恵まれて幸せでした。Aチームを目指してみんなと夜遅くまで練習した時間や、トレーニングをした時間は自分を成長させてくれました。そして、ここまで不自由なく野球をやらせてくれた両親には感謝しています。ありがとうございました。今後は、少しでもチームの力になれるよう行動で示していきたいと思います。

北角(人間4・槻の木)

うまくいかないことが多い大学野球でしたが、そんな時でも感謝の気持ちを原動力に、自分と向き合う大切さやさまざまなことを学ぶことができました。これからは、リーグ戦の分析や練習などでしっかりと献身していこうと考えています。また、おもしろい仲間たちの中で鍛えられ、野球の技術と反比例するかのごとく伸びたトーク力で悩める選手のフォローもしていきます。

藤塚(経4・岐阜東)

大学野球を振り返ると苦しいことの方が圧倒的に多かったですが、この野球部で過ごした時間はこれからの糧になると感じています。最後の試合で4年生の投手みんなで達成した完封リレーは最高に嬉しかったです。そして、この野球部に入って4年間生活できたのは両親のおかげであり、親元を離れて暮らすことで親への感謝を改めて感じました。また、これまでの指導と、最後の試合を用意してくださった指導者の方々にも感謝しかありません。この4年間で得た経験を大切に、これからの人生を楽しんでいきたいです。

松本(文4・広島観音)

私は大学での野球生活で、「当たり前」という言葉がもつ恐ろしい力に気付きました。それは感謝の気持ちを忘れさせる力です。下級生が動いてくれることは当たり前ではないし、そこに対する感謝を忘れてはいけません。感謝は尊重を生み、尊重は応援を生むと信じ、昨年の神宮での応援のような一丸となった応援で日本一になるために、感謝の気持ちを大切にしたいです。これからはサポート役として、感謝の気持ちを忘れず、チームのために精一杯のサポートをしていきたいです。

編集後記



左から、西村(政策2・近大福山)、橋本(政策4・大谷)、尾端(法4・三田学園)

奪首×Dash! 第38号はいかがでしたか？

4月から約2ヵ月間にわたる自粛期間を経て、6月半ばにようやく練習を再開することができました。活動再開にあたりまして、ご理解、ご協力くださいました方々に心から感謝申し上げます。現在はまだ手探りではありますが、秋季リーグ戦に向けて、今できることに精一杯取り組んでいきます。

さて、9月5日より令和2年度秋季リーグ戦が開幕します。皆さんには、球場に足を運んでいただくことが難しいと予想されますが、離れていても私たちと心をつなげて、関大野球部を応援していただきたく思います。今年も皆さんに感動をお届けできるよう、「共創」の精神を忘れず、最後まで戦ってまいります！